

2016年(平成28年)3月期(第31期) 第2四半期決算説明資料

株式会社 **エフティグループ**

(証券コード 2763)

- ・ 2016年3月期(第2四半期)決算レビュー
- ・ 当期の業績予想と取組み
- ・ 株主還元策

. 2016年3月期(第2四半期)決算レビュー

連結決算概要

売上高は、前年同期比0.3%増収の、17,194百万円。営業利益は、前年同期比4.3%増益の、2,160百万円。業績予想達成に向けて計画どおりの進捗。

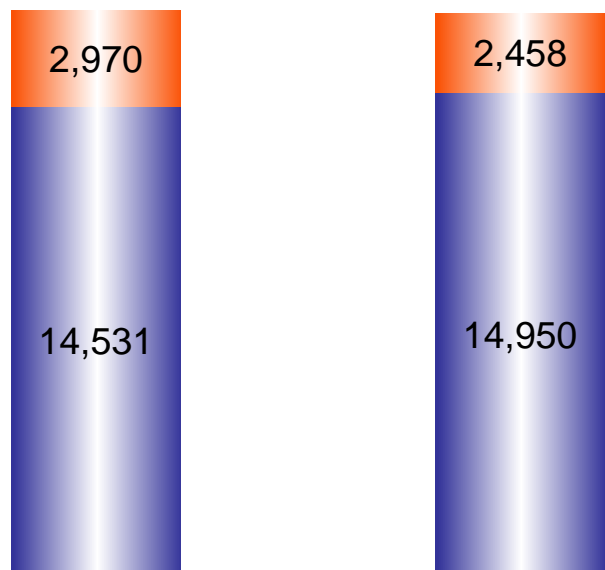
(単位：百万円)

区分	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減	増減率	2016年3月期 通期予想	通期予想 進捗率	2015年3月期 通期実績
売上高	17,151	17,194	43	0.3%	38,000	45.2%	34,942
売上総利益 (売上総利益率)	8,979 52.4%	8,695 50.6%	284	3.2%	-	-	18,262 52.3%
営業利益 (営業利益率)	2,071 12.1%	2,160 12.5%	88	4.3%	5,000 13.2%	43.2%	4,486 12.8%
経常利益 (経常利益率)	2,117 12.3%	2,149 12.5%	32	1.5%	5,000 13.2%	43.0%	4,538 13.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (当期純利益率)	1,314 7.7%	1,344 7.8%	30	2.3%	3,000 7.9%	44.8%	2,770 7.9%

セグメント別概要 (法人事業)

当期より連結の範囲に含めておりますタイ王国のLED照明等の環境系商品の販売が好調に進んだことや
ファイルサーバー・UTM (Unified Threat Management 総合脅威管理システム) の販売が堅調に推移したこと
と等が要因となり、法人事業は増収増益。

売上高 (単位: 百万円)



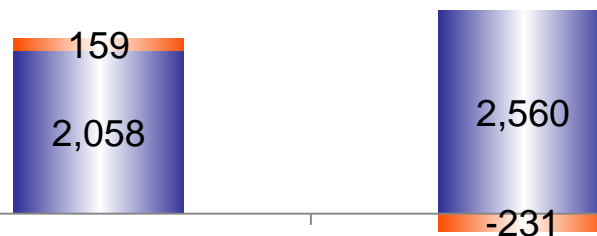
2015年3月期
第2四半期

2016年3月期
第2四半期

■ 法人事業 ■ コンシューマ事業

法人事業の営業利益
前年同期比 24.4%増

営業利益 (単位: 百万円)



2015年3月期
第2四半期

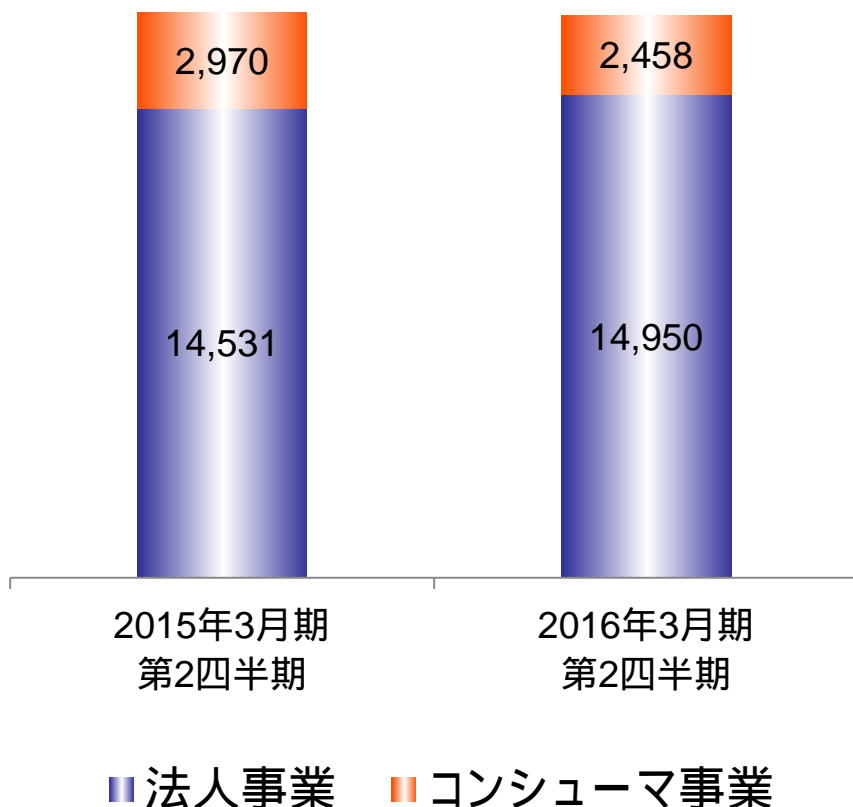
2016年3月期
第2四半期

■ 法人事業 ■ コンシューマ事業

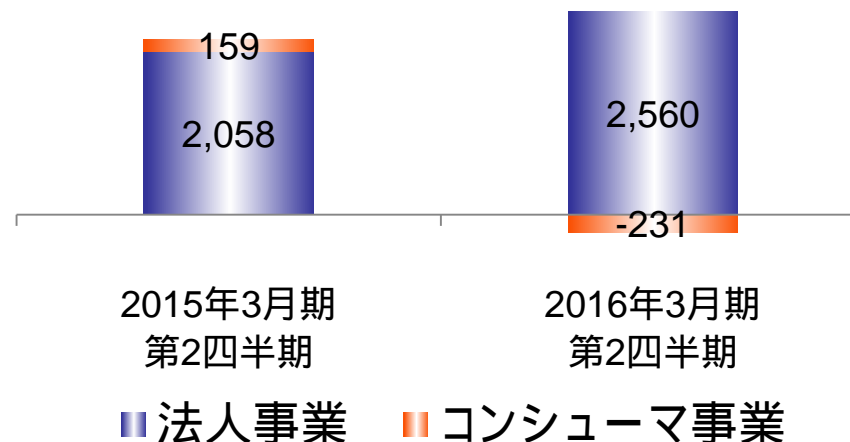
セグメント別概要 (コンシューマ事業)

前期までの光ファイバー回線の取次販売(フロー型)から、当期は、当社グループのサービス「ひかり速トク」
として「アイエフネットインターネットサービス」とのセットプラン(ストック型サービス)に切り替えたこと等が要
因となり、コンシューマ事業は一時的に減収減益。中長期的には利益貢献。

売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



商品別売上高(法人事業)

(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比
コピー機	2,070	1,993	96.3%
LED照明	2,946	3,666	124.4%
冷媒ガス、Bizコーティング	579	645	111.4%
ビジネスホン	2,213	2,349	106.1%
サーバ・UTM	1,705	2,176	127.6%
光コラボ (Bフレ) ISP	1,328	1,476	111.1%
WEBサイト制作	696	671	96.4%
法人携帯	1,032	674	65.3%
その他	1,949	1,300	66.7%
法人事業合計	14,518	14,950	103.0%

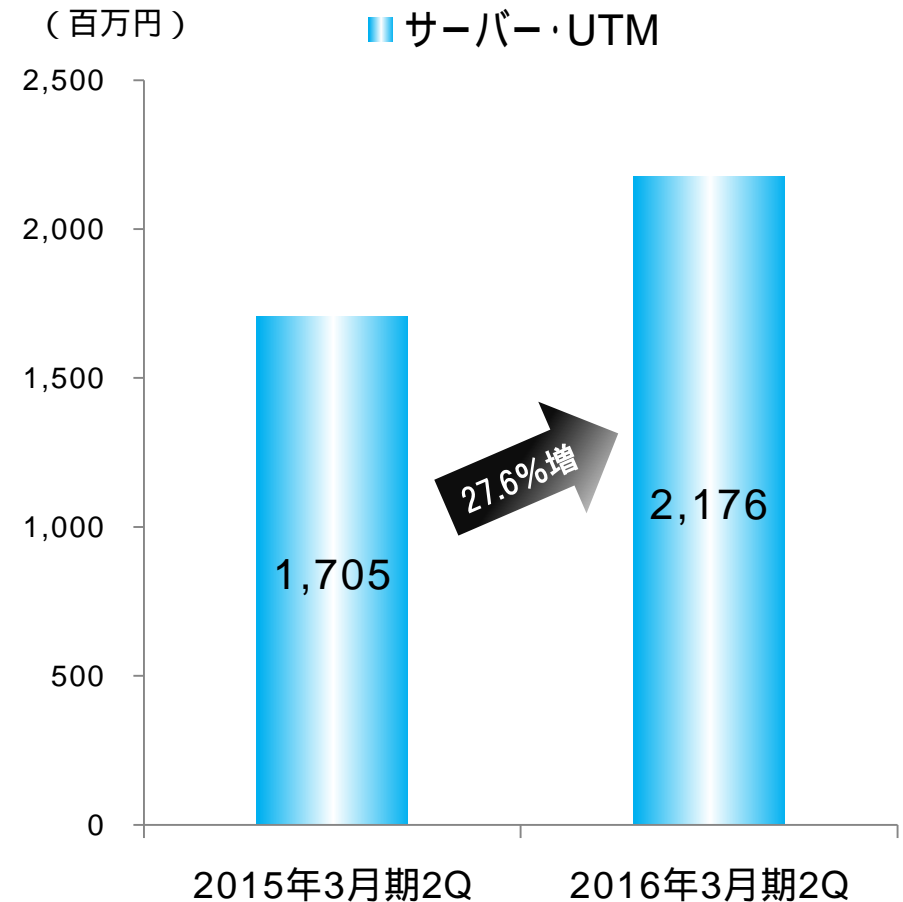
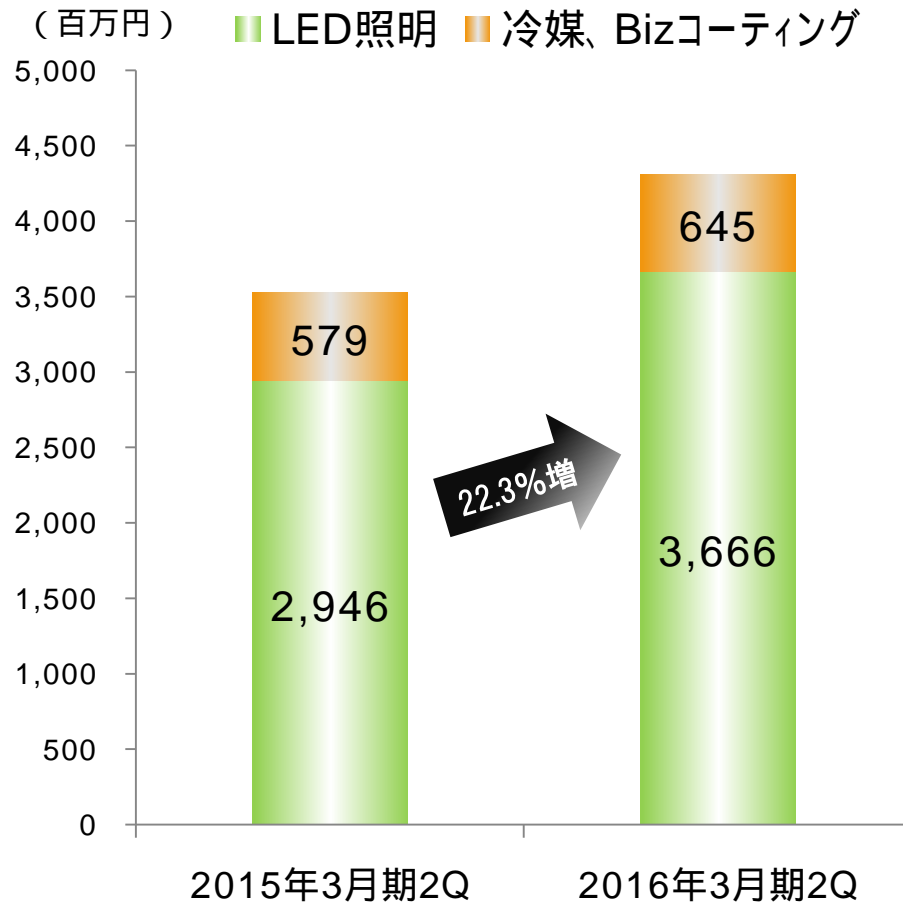
商品別売上高(コンシューマ事業)

(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比
光コラボ (Bフレ) /ISP/LTE	2,016	1,541	76.4%
ドコモショップ	954	917	96.1%
コンシューマ事業合計	2,970	2,458	82.8%

環境系、セキュリティ系の売上高

LED照明販売は堅調に推移。エアコン等空調機器の自然冷媒ガス、紫外線や赤外線を大幅にカットするガラスコート剤(Bizコーティング)の販売等、環境関連商品の複合提案に注力。
マイナンバー制度への対応等、セキュリティ系のサーバー・UTMの拡販も引き続き注力。



連結貸借対照表

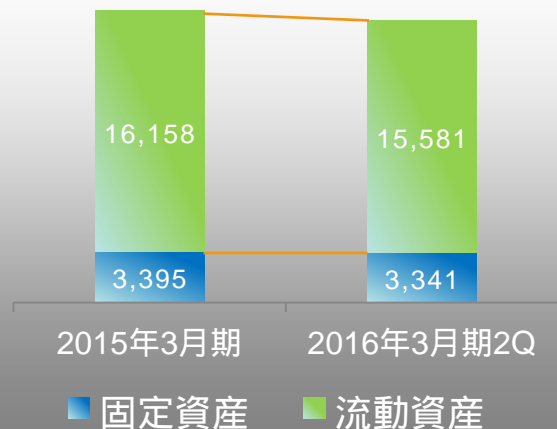
(単位：百万円)

区分	2015年3月期	2016年3月期 第2四半期	増減
総資産	19,554	18,923	630
負債	8,682	7,540	1,142
純資産	10,871	11,383	511

Point

	【2015年3月期】	【2016年3月期2Q】
利益剰余金	81億69百万円	90億51百万円
自己資本比率	53.5%	58.4%

(単位：百万円)



主な増減

総資産

- ・現金及び現金同等物が1,136百万円減少
(税金、配当、自己株式取得)
- ・売掛金が521百万円増加

(単位：百万円)



主な増減

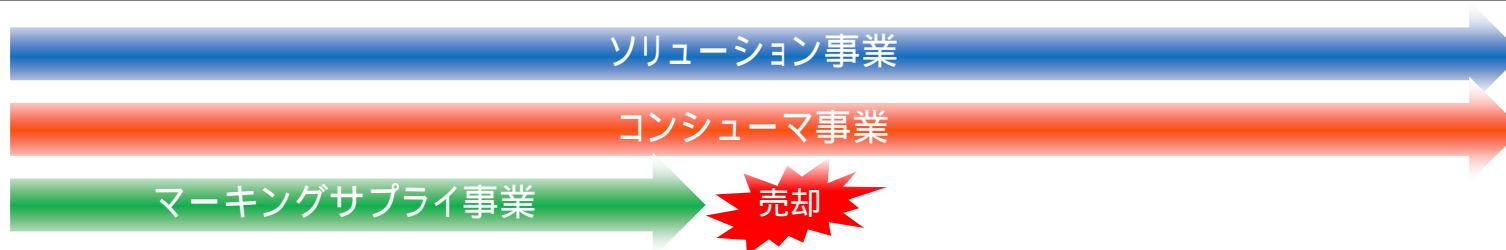
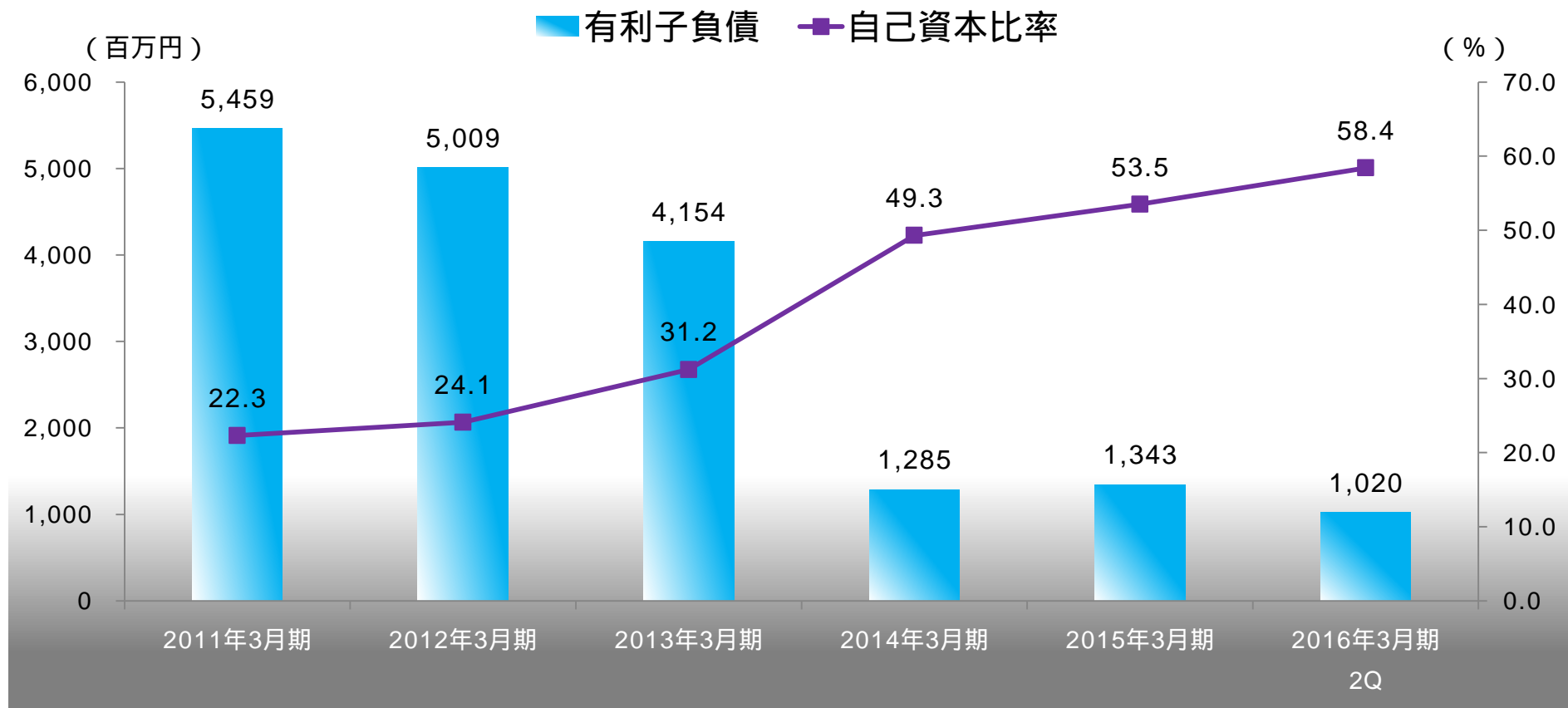
負債

- ・買掛金が369百万円増加
- ・短期借入金が110百万円減少
- ・長期借入金が202百万円減少

純資産

- ・利益剰余金が881百万円増加

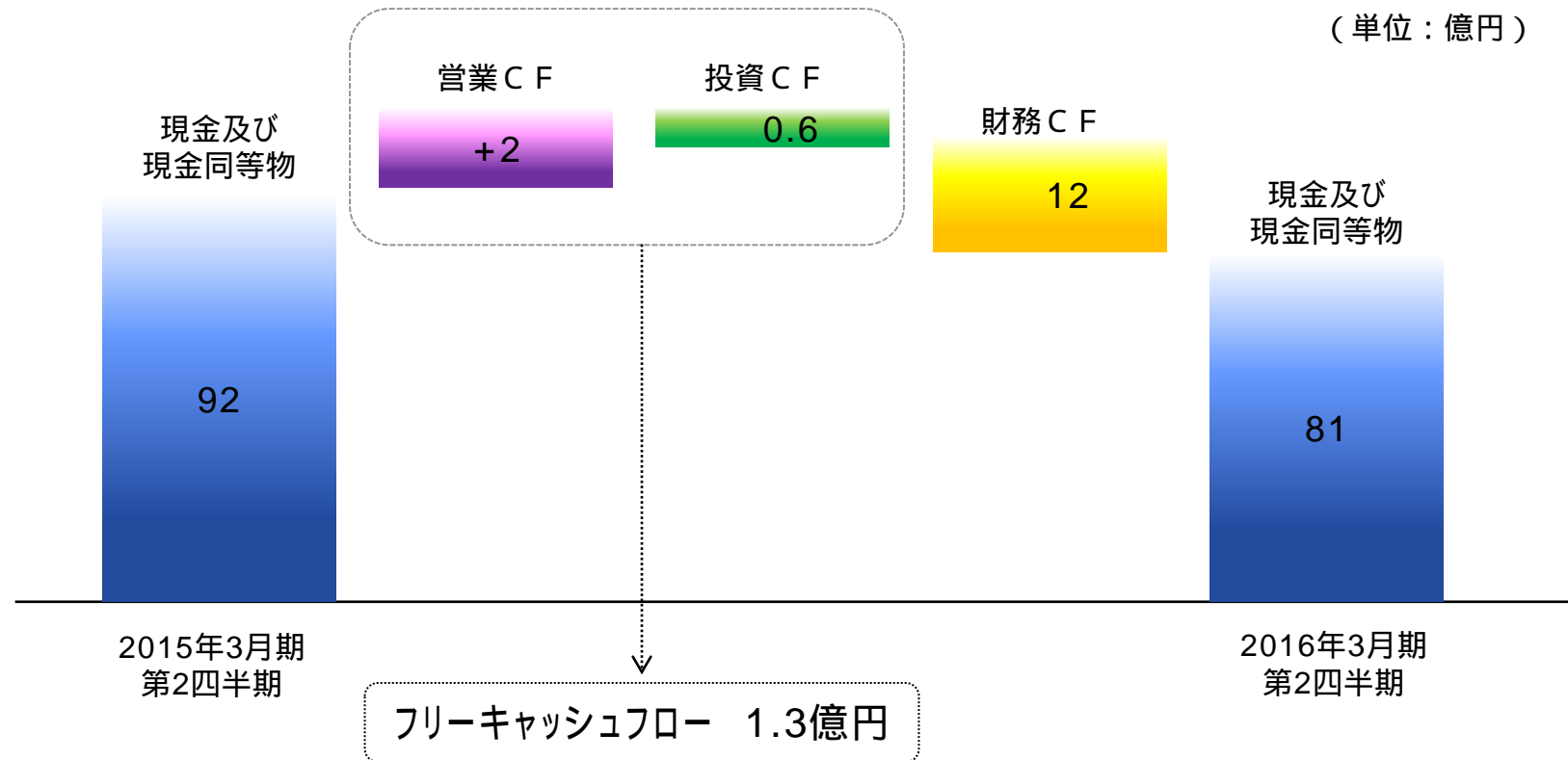
有利子負債と自己資本比率の推移



キャッシュ・フローの状況

営業キャッシュフローは2億円、投資キャッシュフローは 0.6億円となり、フリーキャッシュフロー()は1.3億円となりました。また、財務キャッシュフローは 12億円となりました。
以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から10.9億円減少し、81億円となりました。

フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー



2016年3月期 第2四半期の主なトピックス

株主還元策、 M&A等	自己株式の取得（2015年8月26日付の取締役会決議）
	株式分割及び配当予想の修正
	新設分割及び商号変更の完了
	当社連結子会社によるレカム株式会社 of 事業一部譲受け

自己株式の取得開始 (2015年8月26日付の取締役会決議)

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の実施及び株主への利益還元を目的として自己株式取得を開始。

- ・取得株式数 200,000株 (上限)
- ・取得総額 500,000,000円 (上限)
- ・取得期間 2015年8月27日から2015年9月30日



自己株式の取得終了

- ・取得株式数 200,000株
- ・取得総額 433,278,700円
- ・取得期間 2015年8月27日～2015年9月16日

2015年9月30日現在の自己株式数は394,728株。

株式分割及び配当予想の修正

【株式分割】

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的として、普通株式を1株につき3株の割合をもって分割しました。

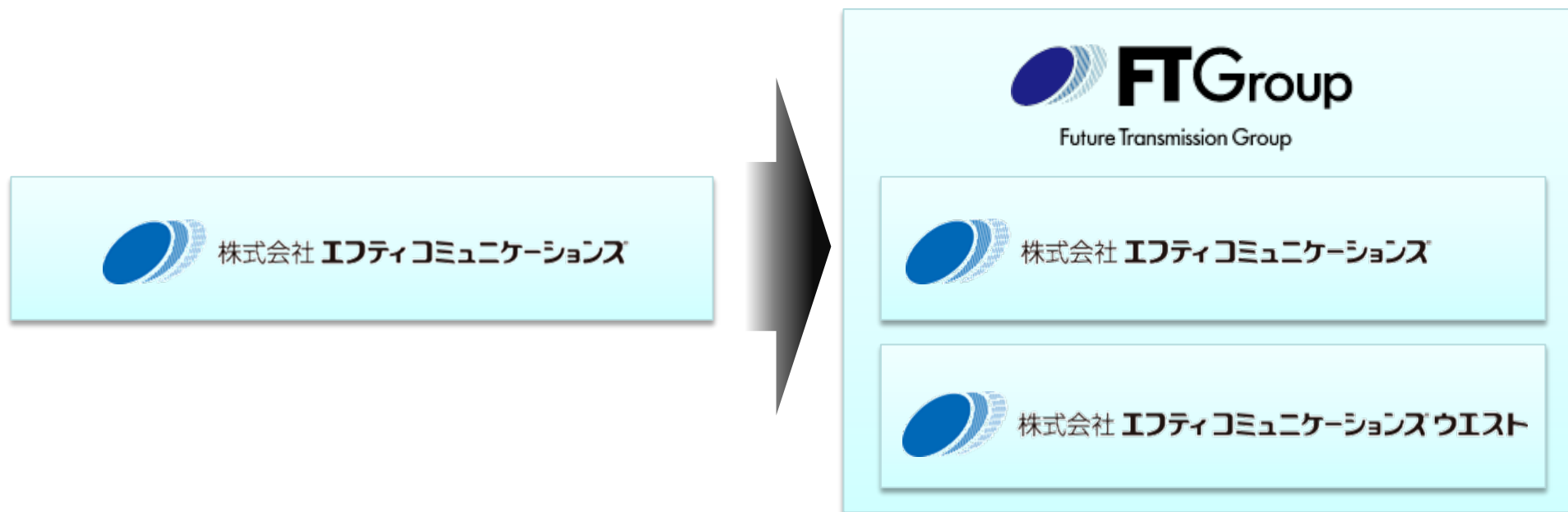
分割基準日：2015年9月30日

【配当予想の修正】

当社株式1株を3株に分割することに伴い、株式の分割後となる2016年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり40円から14円としました。これは、株式分割前1株当たり期末配当金に換算しますと、42円になり実質2円の増配となります。

新設分割及び商号変更の完了

当社は、2015年8月に会社分割により株式会社エフティコミュニケーションズと株式会社エフティコミュニケーションズウエストを新設し、商号を「株式会社エフティグループ」に変更しました。



当社連結子会社によるレカム株式会社の事業一部譲受け

レカム株式会社の既存顧客（広島県、岡山県）に対する通信機器等販売事業を当社連結子会社の2社が譲受けました。

広島県担当：株式会社エフティコミュニケーションズウエスト

岡山県担当：株式会社グロースブレイブジャパン



当社グループの中長期的な経営戦略のひとつ

「既存事業におけるマーケットシェアの拡大」

・ 当期の業績予想と取組み

(単位：百万円)

	2014年 3月期 【実績】	2015年 3月期 【実績】	2016年 3月期 【予想】	対前期増減	対前期 増減率
売上高	35,837	34,942	38,000	3,058	8.8%増
営業利益 (営業利益率)	4,056 11.3%	4,486 12.8%	5,000 13.2%	514 -	11.5%増 -
経常利益 (経常利益率)	4,113 11.5%	4,538 13.0%	5,000 13.2%	461 -	10.2%増 -
当期純利益 (当期純利益率)	2,654 7.4%	2,770 7.9%	3,000 7.9%	229 -	8.3%増 -

2016年3月期予想は「親会社株主に帰属する当期純利益」

2016年3月期より「受取ロイヤリティー」の表示方法を変更、主要な経営指標は組替え後の数値を記載

当社グループの扱う事業は、LED照明や自然冷媒、太陽光発電設備等を販売する環境関連事業から、ビジネスホン・OA機器・サーバ・UTM（統合脅威管理）、法人携帯などの情報通信サービス事業、光ファイバー回線提供やWEB制作、インターネットサービスプロバイダーを運営管理するインターネット関連事業等、分野を越えて多岐に渡ります。

当社グループの更なる成長にとって、既存事業の強化は不可欠です。グループが扱う商品・サービスの拡販、未出店エリアへの出店など、様々な角度から既存事業の強化を進めてまいります。

当期より、CRM（顧客管理）部門の組織を強化し、『永遠の顧客』をテーマに顧客満足度の向上に取り組んでおります。



LED照明の新たなラインナップとして電解コンデンサーレスを実現し、電源寿命80,000時間を達成したLED照明の販売を開始。

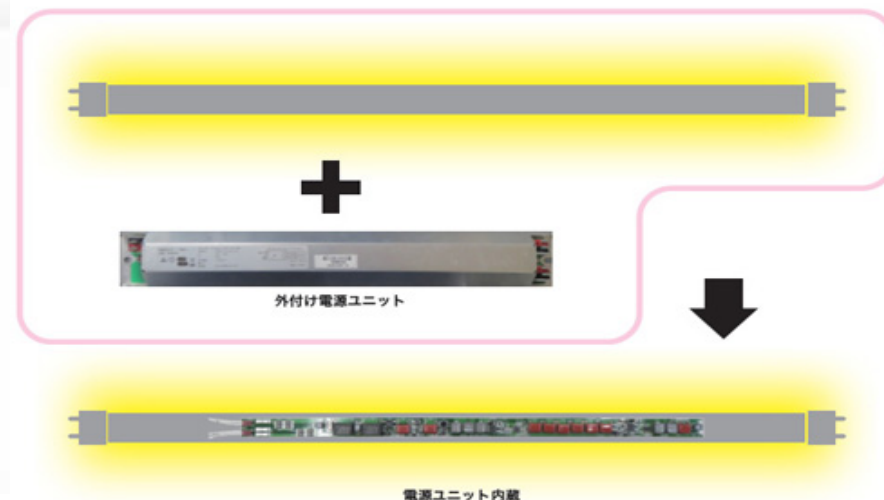
15年レンタルも可能

これは、当社とオンキヨー株式会社の連結子会社、
オンキヨーディベロップメント & マニュファクチャリング株式会社が
共同開発したものです。

【特徴】

電解コンデンサーレスで電源内蔵型。

目にやさしい、ちらつきを低減した
フリッカレス仕様。



直管タイプLED照明の「L-eeDo 長寿命型シリーズ」に続き、「L-eeDo ステップ調光シリーズ」の販売を開始。



【特徴】

品質と信頼にこだわった
高品質な国内製造。

明るさを100%、70%、
50%、30%に調光可能。

4段階調光でムダな電力をカット。使用目的に合った明るさが選べる！



店舗など明るさが
欲しい場所に。



一般的なオフィスや
会議室に。



蛍光灯を間引いて
いる場所に。

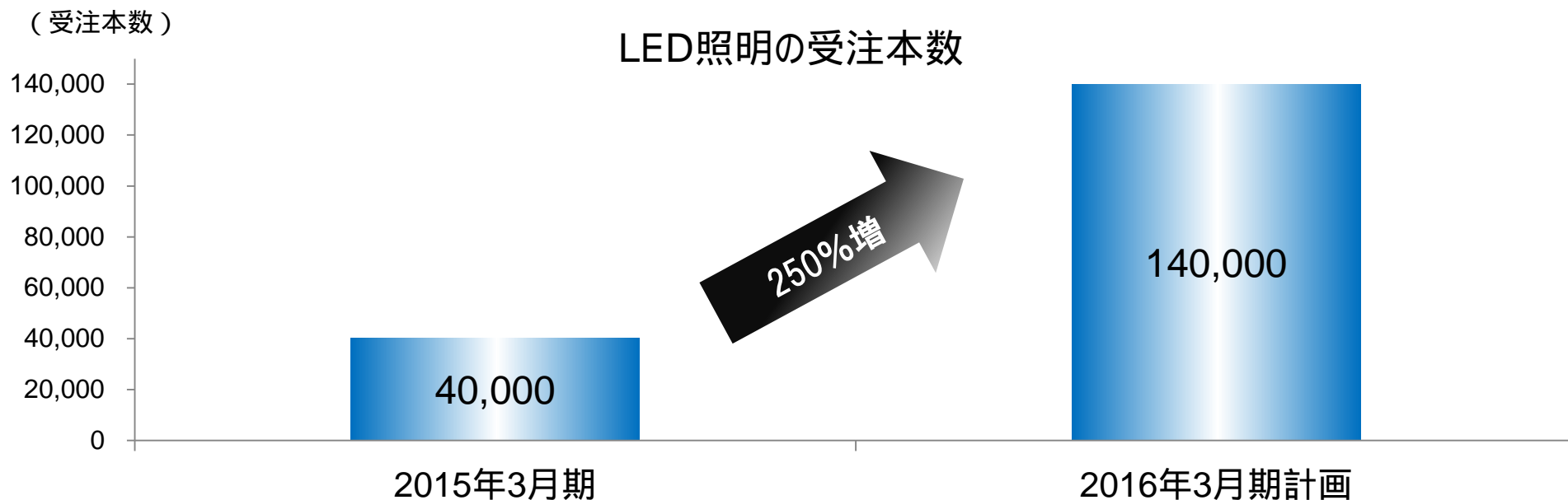


駐車場や廊下、
非常階段に。



※点灯時から3カウント (OFF/ON/カウント) でモード移行します。

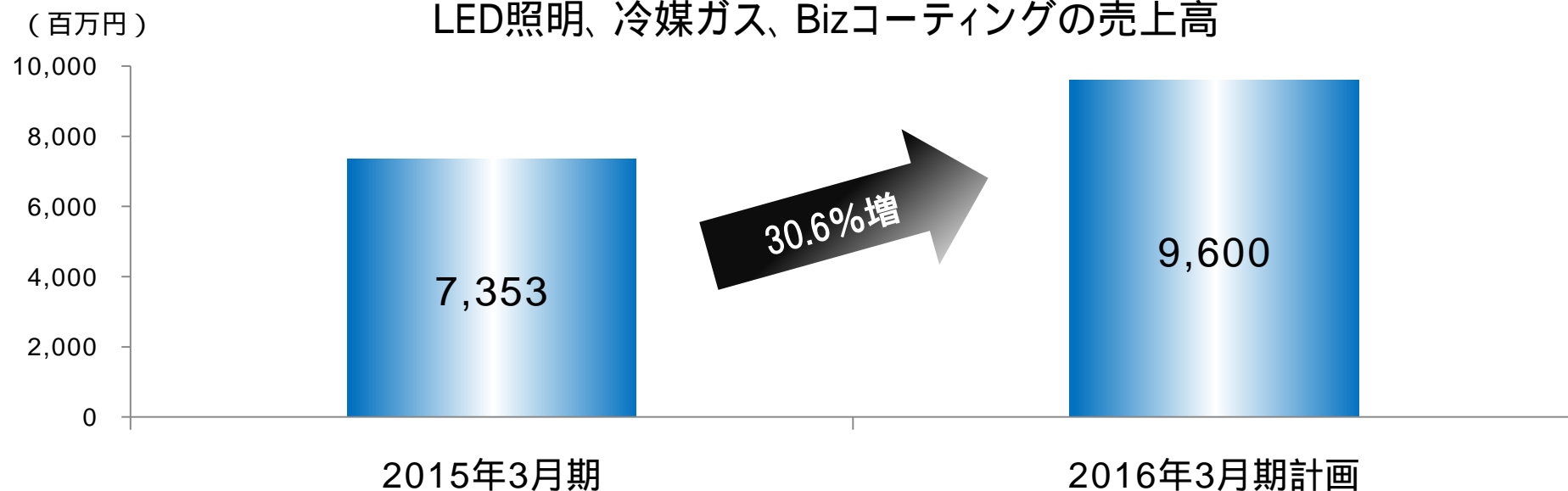
当期より連結の範囲に含めておりますタイ王国の「FT Communications (Thailand) Co.,Ltd.」において、日系の大規模工場等を中心としたLED照明の販売が好調に推移。今後、ASEAN各国へ展開。



LED照明---ラインナップ追加（電源内蔵型、ステップ調光）
冷媒ガス---環境系商品の複合提案に注力
Bizコーティング---窓ガラス用遮熱塗料の拡販



LED照明、冷媒ガス、Bizコーティングの売上高

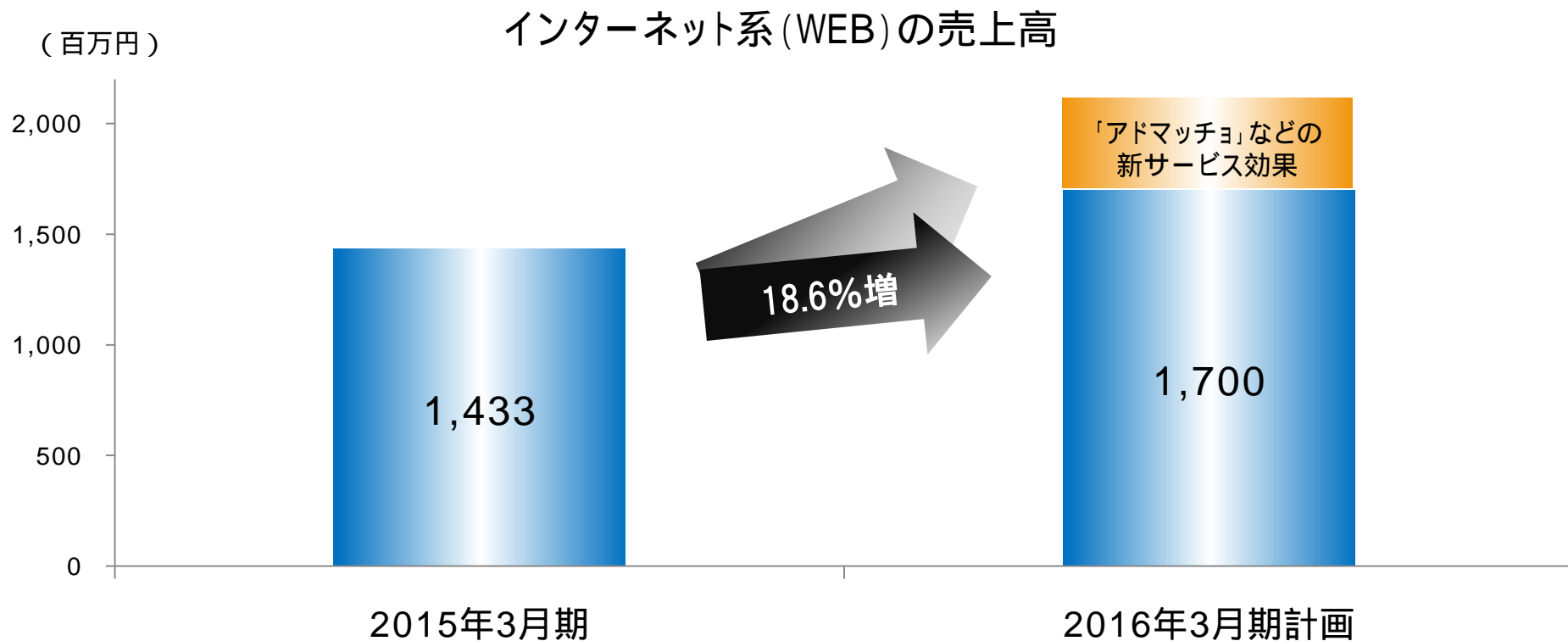


当社連結子会社の株式会社ジスターイノベーションで開発した中小企業や店舗向けのWEB制作・運用・集客までをワンストップで提供するサービス「アドマッチョ」の販売を開始。

広告運用の最適化、ページの最適化、データ分析を活用したマーケティングなど中小企業が不得手としている部分を支援できるのが特徴です。



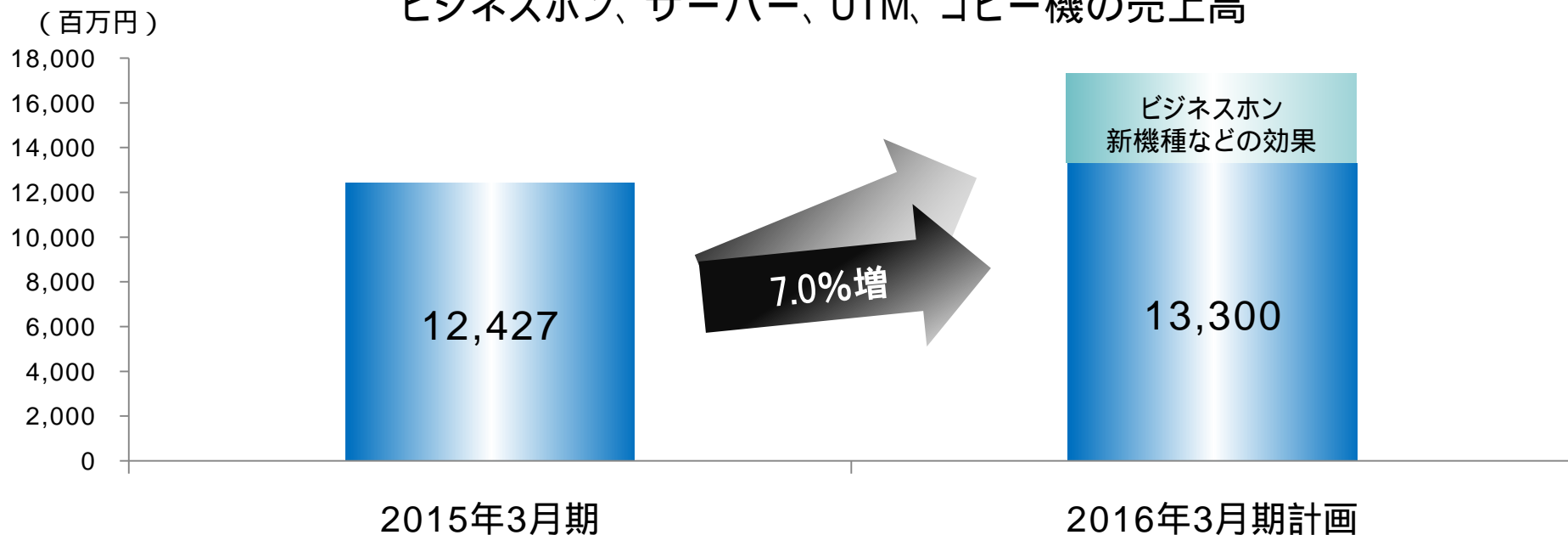
「アドマッチョ」 URL: <http://www.ad-maccho.com/>



ビジネスホン---ビジネスホンの新機種「A1」発売
サーバー、UTM---マイナンバー制度への対応等、セキュリティ需要



ビジネスホン、サーバー、UTM、コピー機の売上高



自社ブランドの「ひかり速トク」「FT光」は、光回線をお客様と当社が直接契約し、当社グループの他商品と組み合わせて、独自サービスを提供するストック収益モデルです。

毎月約5千件のペースでお客様が増えております。

中長期的に
大きな収益貢献



光コラボの顧客数



明確なターゲット戦略による積極的なM & Aに取り組みます。

対象企業は、既存事業とのシナジーが図れる国内及び海外の同業他社や当社顧客にとって魅力ある商品・サービスを有する企業等となります。



環境関連事業者

およびストックビジネス

- ・当社の新たな柱となるべき事業の発掘、ストックの充実

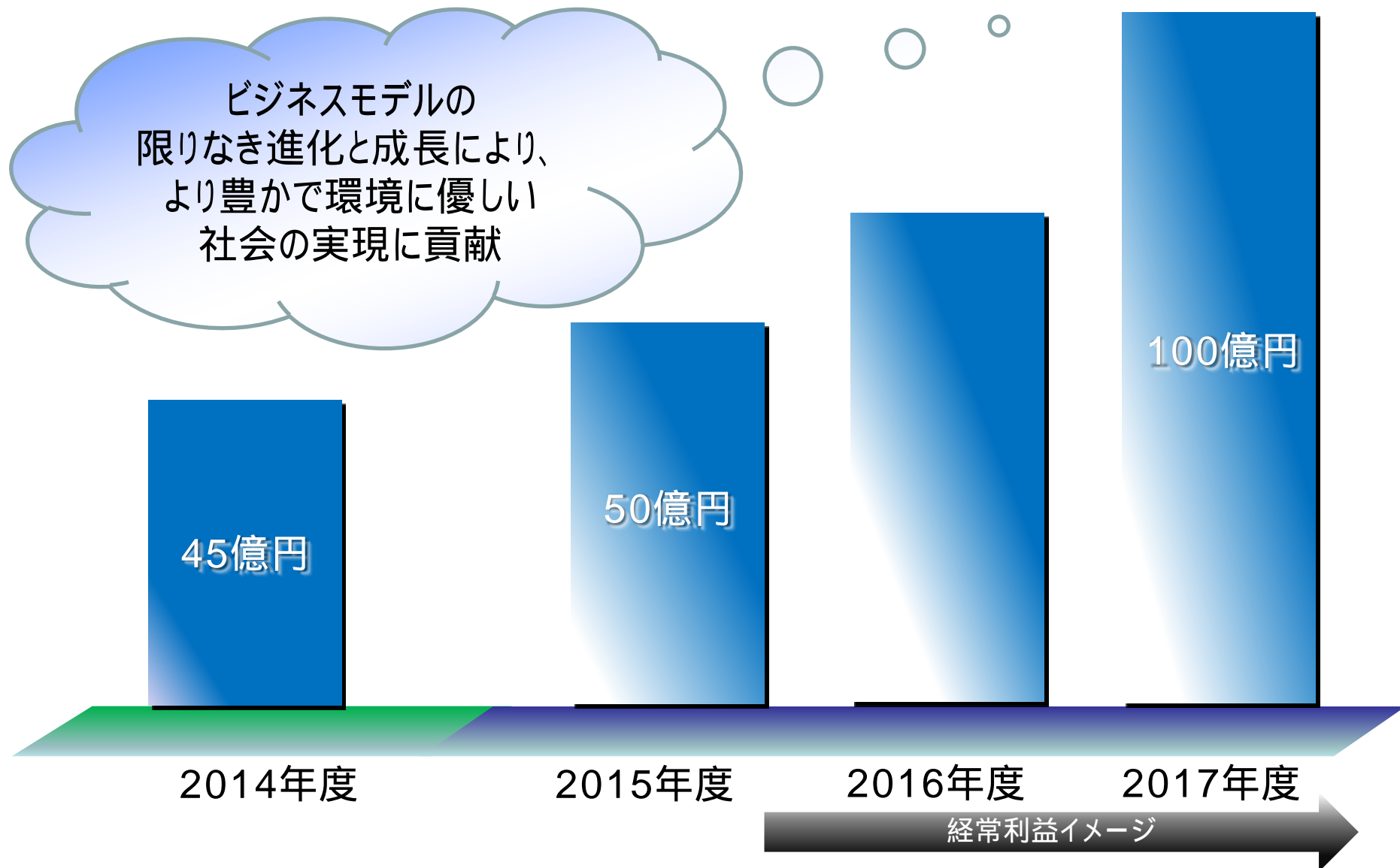
国内の同業社

- ・法人顧客ならびに販路を持つ
- ・出資を含めた業務提携による販路拡大

海外の販売会社

- ・当社の海外展開を一気に加速させる

新たな経営ステージへの突入



ブランド価値向上、リクルーティング強化等を目的に2015年10月よりテレビCMの放映を開始しております。

CM内容は、すべての人々が当社の顧客となり得ることを示し、エフティグループがすべての人々をサポートする会社であることをアピールしています。



エフティグループの認知度を高め、
現場の営業支援、人財採用に繋がります。

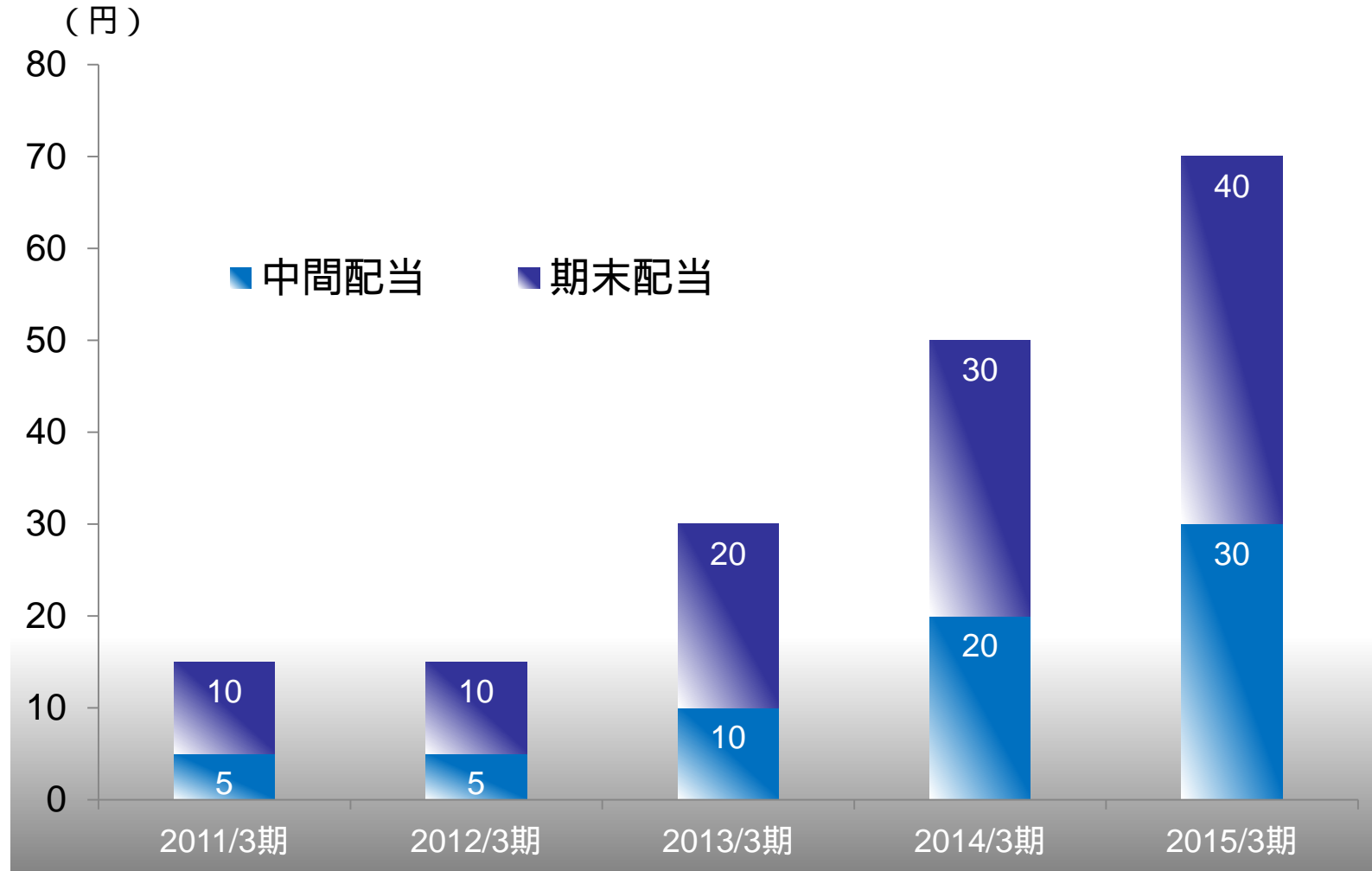
株主還元策

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付けております。

企業価値の最大化を図り、当社の健全な財務基盤確立に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施することを基本方針としております。

自己株式の取得につきましては、株主の皆様に対しての利益還元施策のひとつと考えており、配当による利益還元とあわせ対応を検討してまいります。

1株当たり配当金の推移



2016年3月期 1株当たり配当金

基準日	第2四半期	期末	年間
前回予想 2015年5月14日公表	30円00銭	40円00銭	70円00銭
修正予想 2015年7月17日公表 (株式分割前換算)	30円00銭 (30円00銭)	14円00銭 (42円00銭)	(72円00銭)
前期実績 (2014年3月期)	30円00銭	40円00銭	70円00銭

(注) 2015年9月30日を基準日とした当社株式1株を3株に分割することに伴い、株式の分割後となる2016年3月期の期末配当予想につきましては、2015年5月14日に公表しました「平成27年3月期決算短信」記載の予想金額を1株当たり40円から14円にしております。
これは、株式分割前1株当たり期末配当金に換算しますと、42円になり、前回発表予想の40円より実質2円の増配予定となっております。



Future Transmission Group

IRに関するお問合せ <https://www.ftgroup.co.jp/contact/ir.html>

株式会社エフティグループ IR担当

Tel 03 5847 2777

URL <http://www.ftgroup.co.jp/>

< 本資料の取り扱いについて >

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、発表時点における情報に基づく当社の予想を含み、さらに潜在的なリスクや不確実性を内包するものであり、将来の業績を保証するものではありません。また、本資料で提供している情報に関しては、その情報の正確性及び安全性を保証するものではなく、予告なしに変更されることがあります。

なお、本資料は情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。